

# 年金者部会ニュース

滋賀銀行  
従業員組合  
年金者部会  
TEL077-521-2775  
FAX077-525-5232

## 「ちぎんしがの会」発足後の初の集い 38名が参加おおいに盛り上がる

6月2日、昨年6月発足した「ちぎんしがの会」の総会を兼ねた初の集いが大津市びわ湖大津館で開催されました。懐かしいお顔に接し、ミニコンサート・講演・懇親会での近況の報告など大いに盛り上がりしました。

集いは、10時30分、三橋俊夫、田中紀美子両世話人の司会で始まりました。最初に和田一郎世話人が世話

### ミニコンサート

人を代表して挨拶をしました。演奏するのはフルート川島美和さん、ピアノ 山田千恵子さん。川島美和さんは従祖先代年金部会員の寺田源吾、登代



演奏する川島美和さん

子夫妻のお子さんです。「春の小川で始まる、日本の童謡メドレー」、東日本震災復興応援歌「花は咲く」や「琵琶湖周航の歌」など参加者になじみのある曲目が演奏され、短い時間でしがきれいな音色にひたることができました。

### 早川一光さんの講演

講演するのは、「わらじ医者」で有名な早川一光さん。「ぼけない音頭」の音楽で登場。「高齢者とぼけについて」

講演が始まりました。音楽に手拍子で反応する参加者の感受性を褒めな

がら、本日の参加者の最後、高年齢者日根野昭三さんと馬場正男さん、陣内清輔さんの3名の高齢者に色紙を贈り対話。参加者の笑いで雰囲気を盛り上げ、「大丈夫か？心配事があったらすぐ相談できる」「ちぎんしがの会」にしましょう」と語りかけました。また、「忘れるようにつくってある」のが人間。「3年前に息子の嫁に言われたことがいまだに忘れられない」という生活はやめよう。「いやなことは忘れましょう。うれしいことは覚えましょう。」「いいね！」と参加者の賛同を求めながら講演がすみました。

人間の心はどこにあるのかに始まって後頭部の脳の記憶する部位の皺が増えるごとに増える。「皺が増えることは幾多の困難を乗り越えた証であり、誇れることだ。」と語り、ジョーク「しわさんじゆうに」にすぐに反応した坂下さんに「あなたはぼけな

いと医師として診断。手のひらに太陽の音をかけ、「森羅万象すべて生き生きしている。生あるものは死がある。生きているた



早川一光さん

「森羅万象すべて生き生きしている。生あるものは死がある。生きているた

めに不必要なものは切る、忘れる」最後まで記憶することは感謝で「ありがとう」。一人一人死に方は違う。周りの人に最後に感謝をこめ「ありがとう」といえる生き方をしよう」とよびかけ講演は終了しました。

午後は、懇親会、懐かしい人たちの笑い声や近況報告で大盛況でした。最後に、倉見栄一世話人の閉会の挨拶があり、来年6月の第一日曜日に開く集まりでの再会を呼びかけて閉会しました。

なお、金融ユニオン滋賀分会の機関紙「さざなみ」に毎回掲載されている岩波美智子さんの色紙の原画が展示され会場を飾りました。



早川一光さんの講演を聴く参加者

みなさん こんにちは。永らくご無沙汰でした。ようこそ、おいで下さいました。ありがとうございます。滋賀銀行を退職してからお世話になった方、ともに熱く語り合ったなかまのあの方、この人、今どうして居られるのかなあ。一度、お目にかか

### 和田一郎世話人の挨拶 大輪の思い出話の花を！

か。持とうじやないか。とご案内を差し上げたところ、こんなに多数の方々にご参加いただき重ねてお礼申し上げます。あの時代のあの人に熱く語り合っ

この会場の外のイングリッシュ・ガーデンには、アヤメ類や特にバラが美しく咲いているとのこと。ガーデンの花より大輪の思い出話という花を咲かせて下さい。時間の許すかぎり、楽しくお過ごし下さいませよう。お話し、開会のご挨拶といたしま